

事例名

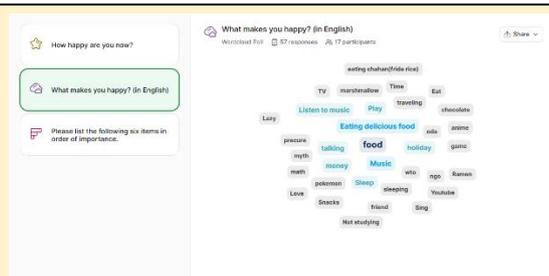
Slido を活用した授業導入による主体的学びの促進

校種・学年	高等学校・3年		
教科・科目・単元・題材	英語科・Writing Method Legacy		
学校名〈任意〉	京都府立南陽高等学校	事例報告者氏名〈任意〉	公手 智生
機能名（アプリ名）	・iPad ・Slido		

ICT 活用のポイント

- ①匿名性の確保→ 普段発言しにくい生徒も安心して意見を表明できる。
- ②即時性・可視化→ その場で全体の意見を一覧化し、授業を柔軟に調整できる。
- ③多様な視点の共有→ 一人の意見に偏らず、全員の考えを学び合う場をつくる。
- ④学習履歴の活用→ 授業後の振り返りや次回への接続に活かせる。

活用場面



写真①Slido のアンケート画面



写真②Slido を使用している教室の様子（イメージ）

①「Slido」というアプリ（サイトでも可）を使用した。

・**Rating Poll (How happy are you now?)** → 授業冒頭に「今の気分」を5段階で評価させ、クラス全体の雰囲気を把握。わかりやすい質問にすることで、Slidoの使い方を自然に理解することができた。

・**Word cloud Poll (What makes you happy?)** → 質問に関して自由記述で投稿させ、ワードクラウドで可視化。生徒は自分と他者の価値観を比べながら、授業テーマに興味をもって参加できた。

・**Ranking Poll (Please list the following six items in order of importance.)** → 幸せにつながる6つの要素 (money, good health, family and/or friends, freedom, helping others, living in a safe country) を提示し、重要だと思う順に並べさせた。ランキング結果を共有することで、生徒は自分とクラス全体の違いを実感し、多様な考え方を尊重する姿勢を育んだ。

授業者のコメント・児童生徒の主な反応等

- ①発言が苦手な生徒からも意見を集めることができ、クラス全体で学びを共有できた。
- ②投票やワードクラウドによって、生徒の考えが一目で分かり、その場で授業を調整できた。
- ③投稿された意見を題材に対話を深めることで、ICTと対面のやり取りを組み合わせる効果を実感した。